

Art Festival

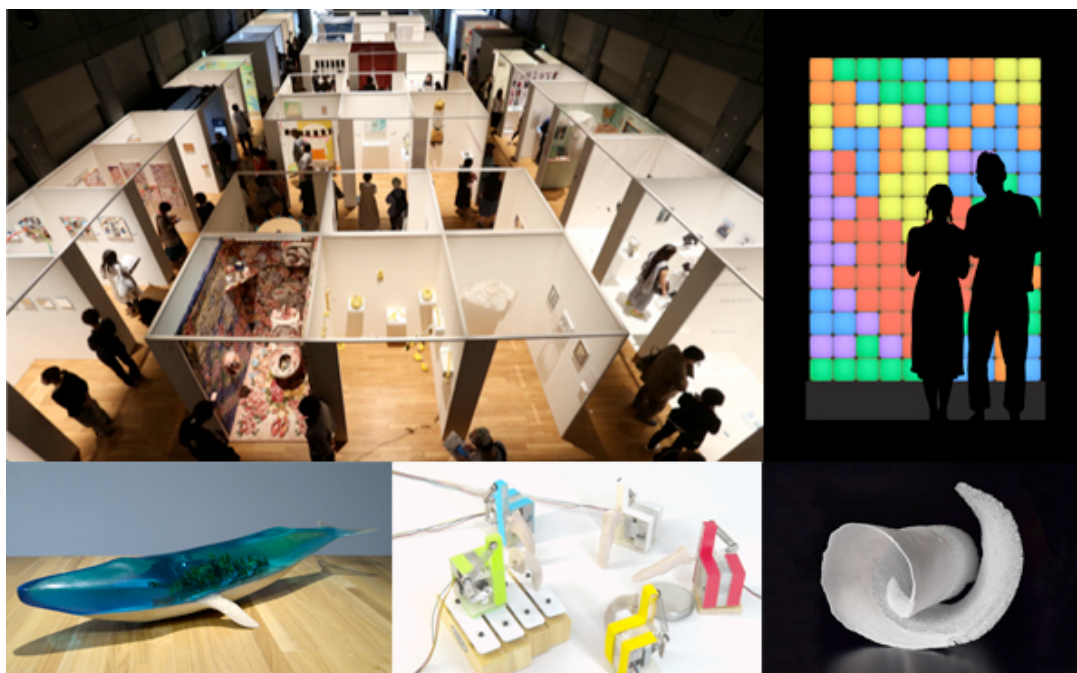
出展者数 150 組に拡大！ゴールデンウィーク恒例、
ジャンルの垣根を超えた気鋭のクリエイターによるアートフェスティバル

SICF18

 Spiral Independent Creators Festival 18

会期 2017 年 5 月 2 日 (火) —7 日 (日)

会場 スパイラルホール (スパイラル 3F)、スパイラルガーデン (スパイラル 1F)、
MINA-TO (スパイラル 1F)



(左上) 「SICF17」会場風景 撮影：市川勝弘 (右上) 「SICF18」 B 日程 SENSESCAPE DESIGN Lab. 作品
(左下) 「SICF18」 A 日程 山田勇魚 作品 (中下) 「SICF18」 C 日程 音鼓子 作品 (右下) 「SICF18」 C 日程 加藤千佳 作品

スパイラルは、若手クリエイターの発掘・育成・支援を目的としたゴールデンウィーク恒例のアートフェスティバル「SICF18」(第 18 回スパイラル・インディペンデント・クリエイターズ・フェスティバル)を 2017 年 5 月 2 日 (火) —7 日 (日) に開催します。

公募によって選出された気鋭の若手クリエイターが一堂に会し、絵画、立体・インスタレーション、写真、メディアアート、ファッション、工芸やそれら既存のジャンルに捕われない作品を展示、活発なプレゼンテーションを展開します。

18回目を迎える「SICF」は出展クリエイター数を従来の100組から150組に拡大、3会期6日間で開催します。さらに会場としてスパイラルガーデン (スパイラル1F) を追加し、公募形式のパフォーマンスプログラム「SICF18 PLAY」を新たに実施、若き才能が直径10mの円形空間を舞台に、20分以内で自由に表現します。開催期間中は、クリエイティブの現場を牽引する審査員やゲストによるトークプログラムや、SICF17受賞者を中心としたクリエイターによるワークショップ、パフォーマンスを開催。さらに、MINA-TO (スパイラル1F) のArt WallにてSICF過去出展者による作品の展示・販売、前年の受賞者が作品展示を行なう「SICF17受賞者展」を同時開催するなど、若手クリエイターの瑞々しい感性がスパイラル館内を彩ります。

ゴールデンウィークに開催するアートイベントとして、この機会にぜひご掲載・ご取材くださいますようよろしくお願い申し上げます。

ご掲載に関するお問い合わせは下記までご連絡ください。
スパイラル／株式会社ワコールアートセンター 広報部 浅野仁美
〒107-0062 東京都港区南青山 5-6-23
TEL 03-3498-5605 FAX 03-3498-7848

E-mail press@spiral.co.jp SPIRAL WEB <http://www.spiral.co.jp/>

SICF SPIRAL
INDEPENDENT
CREATORS
FESTIVAL

spiral.

SICF18 【会場 スパイラルホール（スパイラル 3F）】

未知の才能を発掘、開花させるアートフェスティバル

未知の才能と出会う開かれた発表の場「SICF」では、これまでアートファンはもちろんのこと、ギャラリストやコレクター、アートディレクター、プレス関係者の方々と、若手クリエイターを結び付け、出展者の活動の幅を広げるきっかけとなってきました。さらに、会期の最後には審査員により、優秀作品にグランプリ、準グランプリ、各審査員賞を、来場者の投票により、オーディエンス賞を授与します。グランプリ受賞者には、顕彰として、スパイラルでの個展開催（制作費 50 万円を補助）とスパイラル広報紙「Spiral Paper」での特集の機会が与えられ、その他の受賞者には、「SICF18 受賞者展」への出展の権利が授与されます。さらに、受賞者のみならず出展者にも、スパイラルが企画運営を行なう、さまざまな展覧会やアートイベントに作品発表の機会が提供され、活躍の場が広がっていきます。

出展者一覧

※4月21日（金）現在。出展者は変更する場合があります。

【A 日程（2017 年 5 月 2 日—3 日）】

尼子友加里／鯨虎じょう／臼田那智／A&B／オウ イセン／長雪恵／角谷沙奈美／革命倶楽部／笠谷耕二／加藤翠／CANOO／河本蓮大朗／kan.i．／Kika Suzuki／木下裕司／Kurofune Lab．／苔むす木工／近藤真生 with Y／坂梨慈兼／佐々木可奈子／Sally Films & Art／嶋崎仁美／下村優介／制野郁弘／田口愛子／田中夏海／ちぎらしょうこ／DAISYGRAPHICS／東城信之介／毒虫プロダクション／永井寿郎／中小路萌美／なかやまありさ／名倉達了／新田知生／沼野伸子／NEXT TYPE／長谷川彰宏／平尾菜美／深津秀尊／project waves／細谷幸隆／MIKA OKUBO／宮崎靖之／森敦生・大西玖瑠実／YaMing／山田勇魚／yukomayumi／湯沢恵理／Ráyka

【B 日程（2017 年 5 月 4 日—5 日）】

A24HR8M.JP／安部里香／石賀直之／伊藤幾子／伊藤雄基／irukaningen lab／VIKI／大島亜佐子／大瀧隼人／大田友子／大貫仁美／OGA／小方英理子／岡田健太郎／おかもとりんたろう／Ogino Noriko／小田川悠／柿田真吾／梶川能一／金親敦／KAMIHASAMI／北村康恵／京森康平／黒田恵枝／小林敏大／徐凡／鈴木祥平／関美来／SENSESCAPE DESIGN Lab．／田口友香／田中重昌／チームアルス（YUMKA FUJITA・KEN ISHIGAKI）／Tsukasa Sawamura／照井譲／Nina Corro／浜中 マキ／林亮佑／増田圭祐／星野陽子／Mao Kurihara／正木美穂／松尾美森／松川葉／miiya／みやけゆりこ／安岡つづみ／柳田有希子／結佳／吉成仁志／LI RUI／YK

【C 日程（2017 年 5 月 6 日—7 日）】

浅井文昭／荒瀬智子／池田信介／池田知穂／井上茜／植田明志／sss（京都精華大学版画）／音鼓子／小野愛／開藤菜々子／画家 まつお／加藤千佳／木村翔太／クラトミ タカユキ／小池正典／伍嘉浩／小松可奈子／坂本睦美／Sixteenroom_KimYounghyun／島香澄／Shuta Oku／鈴木菜々子 suzuki nanako／高島亮三／TAKAHIRO JOKO／竹内穂希／CHIBIGUTS／Design studio co.mochi／ten en／Barbara Gil／東地雄一郎／福重美幸子／福田陸／福山久恵／藤井優子／細井大輔／前野めり／松岡杏和／松上綾音／松本莉央／mayutaka／森貴之／森山枝美／モロモトタクマ／門馬美喜／山田命佳／YUCHI Mami 勇内真美／Yoshi／吉田ショウヘイ／risa kagami／RiveRiver

SICF18 出展者データ（150 組）

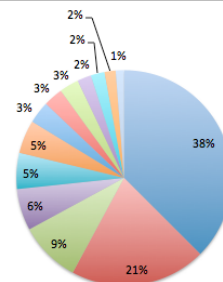
《ジャンル分布》

《出展者年齢》

平均

30.3 歳

- 立体/インスタレーション
- アクセサリー
- 絵画
- その他
- 工芸
- ファッション
- 写真
- プロダクトデザイン
- テキスタイル
- グラフィック・デザイン
- メディアアート
- パフォーマンス
- イラストレーション



SICF フェイスブック

www.facebook.com/SpiralIndependentCreatorsFestival

SICF ツイッター SICF_official

SICF インスタグラム sicf_jimukyoku

SNS 共通ハッシュタグ #sicf18

SICF18 審査員コメント

クリエイティブのさまざまな現場を牽引する審査員が出展作品を審査します。



石田尚志

画家・映像作家、多摩美術大学 准教授

SICFがノンジャンルで領域横断的な表現者にも開かれているのは魅力的なことです。

表現への欲望はジャンルやルールを超えてしまうものだからです。

しかしだからこそ、自分が選んだ技術や方法が、なぜそれでなければ駄目だったのか強く問われるのだと思います。SICFがみなさんにとって、表現ということに対する一つの大きな探求と確認の場になることを祈ります。

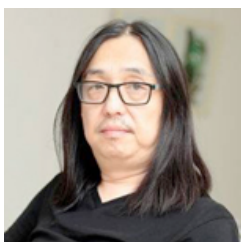


Photo : Masaya Tanaka

栗栖良依

SLOW LABEL ディレクター

前回の SICF では、既存のジャンルに捉われない SICF らしい、さまざまなバックグラウンドをもつ方々による、さまざまな表現に出会うことができました。同時に、審査員の顔ぶれにも偏りがないので、作品評価を通じたディスカッションは刺激的でもあり、次の時代の表現の在り方を考える良い機会でもありました。SICF18 では、どんな人に出会えるんだろう！応募するみなさん、わたしたち見ている側のクリエイティビティをビシバシ刺激してください！



張熹

藝倉美術館 チーフディレクター

現在、日本にはたくさんの優秀なアーティストがいます。今後もその遺伝子を継ぐ優れたアーティストが生まれてくることを確信しています。私はその未来に期待を寄せながら、皆さんの作品と向き合う中で、新たな才能を見つけ出したい。そして、皆さんと共に時代を切り拓いていきたいです。



Photo : Nobutaka Satoh

中村茜

株式会社プリコグ代表、パフォーミングアーツプロデューサー

「作品を観客に届けること。」それが自分の仕事だと思っているわたしにとっては、作品を見て何かを強く揺さぶられる観客の顔が想像できるかどうか、それがまず最初の指針となり、手がける作品／アーティストを決め、プロデュースしています。次に、社会にどんなインパクトを与えるのだろうか、どんな問題提起があり、どんな思考や議論を起こすのだろうか、ということを考えます。創造性と社会がどのように影響し合うのか、ということに関心があるからです。SICF でもそのような視点で、作品と対峙してみたいと思っています。



森永邦彦

ANREALAGE デザイナー

テクニックの上手さ、テーマの秀逸さ、アプローチの独自性という観点からではなく、作り手がいかに自己を強く意識し、いかに外の世界との接触し、自己の世界をつくりだしたのか、その過程に惹かれます。作り手は自身の眼を持ち、その眼によってしか世界を見ようとしません。そんな作品に出会えることを楽しみにしています。



藪前知子
東京都現代美術館 学芸員

今回はじめて審査に参加します。どんな小さな身の回りのことでも、誰かがそこに自分の個性を託し、何かを表現したいという衝動に触れるのは常に心が震える体験です。私にとってスパイラルは、そうした大文字の「アート」だけではない、多様な文化の舞台であり続けてきました。ユニークな表現者たちの出発の場にふさわしい、練り上げられたプログラムでの新たな出会いに、大いに期待しています。



大田佳栄
スパイラル チーフキュレーター

スパイラルでは、20 回目を数年後に控えた SICF を通じて、これまで以上に「さらにその先」に注目をしていきたいと考えています。目に見える結果としての作品のクオリティはもちろんのこと、作家としての思想、制作背景、他者への伝え方などを含めた総合的なパフォーマンス力のある、未来の第一線を行くアーティスト・クリエイターの皆さんに出会えることを楽しみにしています。

開催概要

名称 SICF18 (第 18 回スパイラル・インディペンデント・クリエイターズ・フェスティバル)

会期 2017 年 5 月 2 日 (火) —7 日 (日)

A 日程: 2017 年 5 月 2 日 (火) —3 日 (水・祝) 11:00—19:00 [50 組]

B 日程: 2017 年 5 月 4 日 (木・祝) —5 日 (金・祝) 11:00—19:00 [50 組]

C 日程: 2017 年 5 月 6 日 (土) —7 日 (日) 11:00—19:00 [50 組]

会場 スパイラルホール (スパイラル 3F)、スパイラルガーデン (スパイラル 1F)、
 MINA-TO (スパイラル 1F)

〒107-0062 東京都港区南青山 5-6-23

東京メトロ銀座線・千代田線・半蔵門線「表参道」駅 B1、B3 出口すぐ

入場料 [一般] 1 日券 500 円 / 通し券 (A・B・C 日程) 1000 円

[学生] SICF 公式 Facebook、twitter に「いいね!」「フォロー」で無料 (要学生証提示)

※スパイラルホール、スパイラルホール ホワイエ (スパイラル 3F) のみ入場料をいただきます。

※中学生以下は無料でご入場いただけます。

主催 株式会社ワコールアートセンター

協賛 サントリー食品インターナショナル株式会社

協力 株式会社 ORANGE SENSE、株式会社グライダーアソシエイツ、CLIP、株式会社ステージフォー
 株式会社中川ケミカル

企画制作 スパイラル

グラフィックデザイン 日本デザインセンター 大黒デザイン研究室

お問い合わせ 03-3498-1171 (スパイラル代表)

SICF17 受賞者展 開催概要

前年の受賞者が作品展示します。

会期：2017年5月2日（火）—5月7日（日）

11:00—20:00

入場無料

会場：スパイラルガーデン（スパイラル 1F）

出展者

江頭誠（グランプリ）

後藤映則

（準グランプリ・オーディエンス賞）

高木あすか（準グランプリ）

FUKUPOLY（岡本美津子賞）

江藤友理子（金森香賞）

橋本美和子（木村絵理子賞）

MIWAKAKUTA（栗栖良依賞）

植松京子（張熹賞）

山内沙也果（スパイラル奨励賞）



（左）「SICF17」グランプリ受賞作 江頭誠『お花畑』

（右上）「SICF17」準グランプリ・オーディエンス賞受賞作 後藤映則『toki-BALLET#1』

（右下）「SICF17」準グランプリ作 高木あすか『私の山 あなたの山』

撮影：市川勝弘

SICF18 PLAY

スパイラルガーデン（スパイラル 1F）の直径 10m の円形空間を舞台に 20 分以内で自由に表現するパフォーマンスプログラムを初開催します。今回は公募によって選出された、コンテンポラリーダンス、演劇、音楽などのパフォーマンスアーツや、それら既存のジャンルに捕われずに活動する若き才能を紹介します。会期の最後には審査員により最優秀賞 1 組を選出、顕彰としてスパイラルでの作品展開（制作補助費最大 15 万円）、「SICF18 受賞者展」への参加権利が授与されます。

日時：2017年5月3日（水・祝）13:00-15:50

5月5日（金・祝）13:00-16:20

5月7日（日）12:00-15:20

会場：スパイラルガーデン（スパイラル 1F）

審査員：栗栖良依 | SLOW LABEL ディレクター

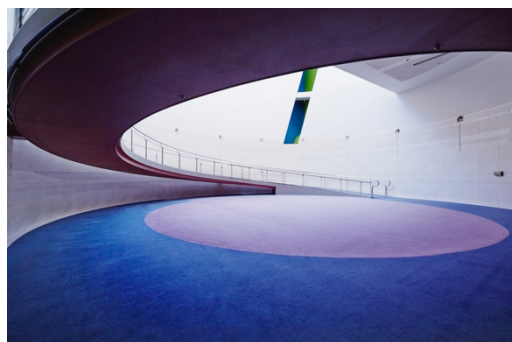
中村茜 | 株式会社ブリコグ代表、

パフォーマンスアーツプロデューサー

小林裕幸 | スパイラル館長、シニアプロデューサー

大田佳栄 | スパイラル チーフキュレーター

観覧無料



スパイラルガーデン

参加者一覧

※4月21日（金）現在。参加者は変更する場合があります。

【5月3日（水・祝）】

13:00-13:20 杉山恵里香

13:30-13:50 Von・noズ

14:00-14:20 西田祥子

15:00-15:20 西尾佳織ソロ企画

15:30-15:50 宮崎あかね

【5月5日（金・祝）】

13:00-13:20 妖精大図鑑

13:30-13:50 アグネス吉井

14:00-14:20 住吉山実里

15:00-15:20 関川航平

15:30-15:50 櫻井香純

16:00-16:20 田路紅瑠美

【5月7日（日）】

12:00-12:20 スイッチ総研

12:30-12:50 Kōya Ogata &
the descriptions

13:00-13:20 tantan

14:00-14:20 CHIBIGUTS

14:30-14:50 菅間一徳

15:00-15:20 荒悠平と大石麻央

SICF トーク

SICF18の審査員や国内外のアートシーンの第一線で活躍するゲストを迎え、トークイベントを開催します。

「作家として作り続けるために」

映像作家としてのみならず、教育現場や審査の立場などを通じて多方面からアートシーンを見る石田尚志氏が、自身の作品を振り返りながら、作家であり続けることの意義や難しさ、公募展参加の是非まで、作家活動をめぐるあれこれを本音で語ります。

日時：5月4日（木・祝）15:30-16:30

会場：スパイラルホール ホワイエ（スパイラル 3F）

登壇者：石田尚志（画家・映像作家、多摩美術大学 准教授）

聞き手：冠那菜奈（アートメディエーター）

「劇場だけが舞台じゃない、『演劇』ってこれからどうなるの？」

舞台の上だけではなく公共の場でも演劇が繰り広げられる今日。演劇の見方や演ずる側にどのようなチャンスが広がっているのか、そもそも演劇とは？という疑問について、アーティストと世界を“繋ぐ”立場にいるお二人に伺います。

日時：5月6日（土）15:00-16:00

会場：スパイラルホール ホワイエ（スパイラル 3F）

登壇者：中村茜（株式会社ブリコグ代表、パフォーミングアーツプロデューサー）

林千晶（株式会社ロフトワーク 代表取締役）

聞き手：冠那菜奈（アートメディエーター）

「広げる、伝える、届ける。アートをつなぐお仕事」

アートフェスティバルが全国各地で行われ、アーティストが多様な場面で活躍するいま、作家と場をつなぎ、作品を鑑賞者とつなぐ人の存在がより重視されてきています。様々なアートの現場に携わった経験をお持ちのゲストスピーカーお二人に、アーティストを取り巻く環境について、客観的視点でお話いただきます。

日時：5月7日（日）15:30-16:30

会場：スパイラルホール ホワイエ（スパイラル 3F）

登壇者：数前知子（東京都現代美術館 学芸員、札幌国際芸術祭 2017 企画メンバー）

工藤千愛子（ヨコハマトリエンナーレ 2017 コーディネーター）

聞き手：冠那菜奈（アートメディエーター）

※ その他、トークイベントについては SICF ウェブ（www.sicf.jp）にて随時更新します。

SICF ツアー

スタッフが SICF をとことん楽しむためのポイントをレクチャーします。その後に、実際にブース作品を“観て”、出展者に作品の話を“聴いて”、参加者みんなで感想を“話す”、来場者参加型のツアーです。

日時：5月3日（水・祝）、4日（木・祝）、6日（土）13:00-14:30

会場：スパイラルホール（スパイラル 3F）

ツアー企画監修：冠那菜奈（アートメディエーター）

※参加希望者は各回の開始時間にスパイラルホール ホワイエ（スパイラルホール 3F）にお越しください。

SICF ワークショップ／パフォーマンス

SICF17 受賞者によるワークショップやパフォーマンスをはじめ、Restaurant Bar CAY（スパイラル B1F）との連動企画として、イラストレーター永井博氏のワークショップを行います。



江頭誠（SICF17 グランプリ）

「まだまだお花見やってます☆Rose Blanket Viewing!!!2017」

江頭誠の新作アートワークと一緒に撮影したり、ロココ調の毛布のブランケットを敷いて、同じ素材で製作されたメガネやコート等を羽織ってみたり、作家と共に、思い思いの方法で作品を体験するイベントです。

日時：5月2日（火）13:00-17:00

会場：スパイラルガーデン（スパイラル1F）



高木あすか（SICF17 準グランプリ）

「10000年経っても腐らない手紙」

漆を染み込ませた紙に“現代”を10000年先の誰かに向けて文字を残すワークショップです。

日時：5月4日（木・祝）14:00-、15:00-（各45分程度）

会場：スパイラルガーデン（スパイラル1F）

対象：10歳以上 参加人数：各10名（要事前申込） 参加費：500円

※申し込み方法は下記をご覧ください。

http://www.spiral.co.jp/e_schedule/detail_2213.html



植松京子（SICF17 張熹賞）

ライブペイントパフォーマンス「産まれて生まれていく」

現実にあると信じる生命力を、エネルギッシュな表現で描き続ける植松京子が、自然発生的に独自の生命体を産みだし、命を最大限に引き出して画面に生きさせていく様子を、描き始めから完成までお見せするライブペイントパフォーマンスです。

日程：5月6日（土）13:00-19:00

会場：スパイラルガーデン（スパイラル1F）



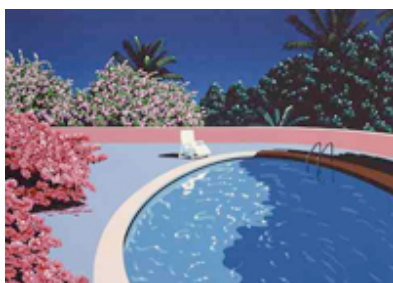
YAKUKAKU | MIWAKAKUTA（SICF17 栗栖良依賞）/薬師寺典子

「コンテンポラリージュエリーと声によるパフォーマンス『域』」

コンテンポラリージュエリーを制作するMIWA KAKUTAと声楽家の薬師寺典子による身体パフォーマンス。ジュエリーが体の中の空間を変え、声として放たれた音の変化から、人間が本来持つ内と外にある空間「域」を身体表現します。

日程：5月5日（金・祝）16:30-17:00

会場：スパイラルガーデン（スパイラル1F）



SICF18 × CAY 連動企画

「イラストレーター 永井博ワークショップ」

80年代以降のカルチャーを牽引してきた永井博の展覧会“T・R・O・P・I・C・A・L・L・A・N・D・S・C・A・P・E”開催に合わせて、SICFと連動したワークショップを開催します。プールやパームツリーなど、永井博のイラスト世界を実写サイズに拡大して、みんなでペイントします。

日時：5月5日（金・祝）Open 13:00 / Start 13:30

会場：スパイラルホール ホワイエ（スパイラル 3F）

対象：高校生以上 参加人数：先着20名（要事前申込）

※参加無料ですが、「SICF18」の入場券（500円）が必要となります。

※申し込み方法は下記をご覧ください。

http://www.spiral.co.jp/e_schedule/detail_2229.html

[MINA-TO Art Wall Vol.7] SICF | SPREAD Textile works by a selection of SICF creators.

過去17年に亘り、来場者とクリエイターの出会いの場を創造してきた「SICF」の18回目の開催を記念し、MINA-TO Art Wallにて、述べ1593組の過去出展クリエイターの中から糸やテキスタイルを素材とし、独自の表現を追求する5名のクリエイターに焦点を当てた展覧会「SICF | SPREAD」を開催します。

繊維を引き揃えて撚りをかけた糸は、布や織物、またそこから生み出される衣服など、古来より私たちの生活にかかせない物として存在してきました。そのため「赤い糸」や「記憶の糸を辿る」のように、人と人との結びつきや時間的な広がりを象徴する言葉に用いられてきました。

本展では、1本の糸から生まれてくる多彩な表現を通し、新たなコミュニケーションの提示や未来に向かって広がる出会いの創造を試みます。

出展者

「イーハトーブ」
okada mariko
(SICF11 南條史生賞)



「赤い合戦図 へのへのもへじとの闘い Part2」
Ruri Clarkson
(SICF14 準グランプリ)



「Night 5」
後藤宙
(SICF16 スパイラル奨励賞)



「Non-Verbal Communication」
菅本智
(SICF15 準グランプリ)



「2017SS Collection
カミナルカミナリ」
中島トキコ
(SICF17 出展)

名称 MINA-TO Art Wall Vol.7 SICF | SPREAD

Textile works by a selection of SICF creators.

会期：2017年5月1日（月）—21日（日）11:00—20:00 会期中無休

会場：MINA-TO（スパイラル1F）